

現場説明書(技術的事項)

工事名 福山市立至誠中学校校舎棟外壁塗装改修工事

1. 現場の状況

工事場所は、福山市立至誠中学校敷地内です。

工事期間中は、校舎、屋内運動場・グラウンド等は使用しています。

2. 別途工事

なし

3. 留意事項

- ① 工事期間中は学校を使用しているため、事故のないよう十分注意し、職員・生徒及び第三者に対する安全確保に努めてください。
- ② 現場着手日及び工事関係車両の駐車場は、施設管理者と協議し決定してください。
また、工事用車両は、通学時間帯を避けて出入りしてください。
- ③ 9月から2学期が開始するので、8月31日までに昇降口廻りの工事を完了させてください。
- ④ 夏休み中、個人懇談会や登校日等の学校行事の際における作業内容は、施設管理者との協議が必要です。
- ⑤ 工事中も室内換気や空調機が使用できる対策を講じてください。
学校等の状況により、改修工事の区分けでの施工や改修内容の変更が生じる場合があります。
- ⑥ 外壁劣化調査後速やかに外壁劣化調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て改修工事を行ってください。
- ⑦ 契約後、実施工程表は14日以内に提出するとともに、施工計画書等の承諾は速やかに受けてください。
- ⑧ 既存工作物等に損傷を与えないように対策を講じてください。
なお、損傷を与えた場合には監督員及び施設管理者と協議のうえ、速やかに復旧してください。
- ⑨ はつり工事に際しては、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- ⑩ 特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。
- ⑪ 工事施工上必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ってください。
- ⑫ 本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。

4. 工事における「第20回世界バラ会議福山大会2025」ロゴの標示について

「第20回世界バラ会議福山大会2025」が2025年5月18日から24日にかけて開催されます。については、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示のご協力をお願いします。

- 使用するロゴは「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿った指定のデザインとしてください。
- 「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要です。
- 使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意してください。
- 大会ロゴの標示については任意事項とし、標示する際は、発注課へ必ず連絡してください。

○ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日です。

○デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せてください。

福山市立至誠中学校校舎棟外壁塗装改修工事

図面リスト	
図面番号	図名
1	図面リスト
2	外壁改修工事特記仕様書 No.1-1
3	外壁改修工事特記仕様書 No.1-2
4	外壁改修工事特記仕様書 No.2
5	外壁改修工事特記仕様書 No.3
6	仮設工事特記仕様書・附近見取図・配置図
7	1階平面図
8	2階平面図
9	3階平面図
10	R階平面図
11	北面・南面立面図
12	東面・西面立面図
13	矩計図

福山市建設局建築部営繕課			2024年 4月		
主務	課員	次長	課長補佐	富補課長	建築部長

福山市外壁改修工事特記仕様書

I 工事概要

1. 工事名称: 福山市立至誠中学校校舎棟外壁塗装改修工事
2. 工事場所: 福山市沼隈町大字上山南4-8番地2
3. 構造規模: 校舎・鉄筋コンクリート造3階建(延べ面積 3,747㎡)
4. 工事種目: 外壁塗装改修 外壁劣化改修 防水改修
5. 別途工事: なし

※ 本工事の工期は工事検査期間としての14日を含んでいる。
 ※ 契約締結後14日以内に実施工程表を提出する。
 ※ 本工事は、法定外の労災保険を見込んでいる。

II 建築工事仕様

1. 共通仕様(最新版)
 - (1) 官公署手続き
受注者は関係官公署への必要な手続きを代行する。(官公署手続きは監督員の承認後とする。)
 - (2) 地元企業及び地場製品の活用
受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用を努める。
 - (3) 疑義に対する協議等
設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合は現場の納まり、取り合い等の関係で、設計図書によることが困難もしくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。
2. 特記仕様
 - (1) 章、項目は番号に○印のついたものを適用する。
 - (2) 特記事項は○印のついたものを適用する。
○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
◎印と※印のついた場合は共に適用する。
 - (3) 特記事項に記載の〔〕内表示番号は、「改修標準仕様書」、()内表示番号は、「建築標準仕様書」、< >内表示番号は、「解体工事共通仕様書」、の当該項目、当該図又は当該表を示す。
 - (4) 材料および製造所等の記載順序は不同である。

項目 特記事項

- ⑩ 完成時の提出図書 [1.9.1~3]
 - 速やかに次の図書を提出する。
 - 竣工図 (※完成図 承諾図 竣工図) 1部
 - A3料を2つ折りにして製本 1部
 - 竣工図電子データ (竣工図電子データ作成要領による。) 一式
 - CADデータ(媒体(CD-R等)、データ形式等は監督員の指示による。) 1部
- ⑪ 別契約の関連工事との調整等 [1.1.7] [2.2.1]
 - 関連工事との調整
 - ※ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。
 - ※ 別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。
- 12 施工中の安全確保 [1.3.7]
 - 労働安全衛生法に基づく指名
 - 本工事は、交通誘導員として 人を見込んでいる。
 - 交通誘導員の配置については、実施伝票(原本)および配置状況のわかる立会い写真の撮影を行い監督員に提出する。
- ⑬ 騒音・振動の防止
- ⑭ 工事実績情報の登録 [1.1.4]
 - 受注者は、次表に従い、工事実績情報を登録する。
登録内容について、あらかじめ監督員の承諾を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。ただし、期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。

課負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万円以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内
- ⑮ 施工数量調査 [1.6.2]
 - 調査範囲 ※ 外壁(庇、笠木共) 図示
 - 調査方法 ※ テストハンマーによる打診及び目視 図示
 - 外壁調査は、外壁改修フローに対応する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置並びに量(幅、長さ、面積)の調査を行う。調査結果により、適切な工法を選定し報告すること。また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督員に提出する。(必要に応じ写真を添付する)
- ⑯ 情報共有システム
 - 受注者は、次表に従い、情報共有システムを利用する。

金額	利用形態
設計金額3,500万円以上	発注者指定型
当初契約金額500万円以上	受注者希望型
- 発注者指定型の場合、システム利用料を見込んでいる。
- 本工事で利用する情報共有システム
<広島県工事中情報共有システム> <http://www.hdbokuk.or.jp/kouji/koujiyoushaisutem2.html>
受注者は、情報共有システムの利用の有無について、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、決定すること。
- 受注者は、情報共有システムを利用する場合、(一社)広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うこと。
- 情報共有システムの利用は次によること。
・福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領(建築工事)
・情報共有システム利用手引(建築工事)
- ⑰ 仮設工事
 - ① 工事現場仮囲い
 - ・ ナイロンロープ張り
 - ・ 木製仮囲い
 - 鋼製仮囲い
 - ・ ガードフェンス
 - ② 監督員事務所
 - ・ 設ける (m程度)
 - 設けない
 - ③ 受注者事務所等
 - 敷地内へ建てることのできる
 - ・ 敷地内へ建てることのできない
 - ④ 工事用水
 - 構内既存の施設
 - 有償で利用できる (副メーター設置等)
 - ・ 無償で利用できる
 - ・ 利用できない
 - ⑤ 工事用電力
 - 構内既存の施設
 - ・ 有償で利用できる
 - ・ 無償で利用できる
 - 利用できない
 - ⑥ 安全対策
 - 敷地内の工作物は、必要に応じて養生を行い、被害を及ぼした場合は受注者の責任に於いて復旧する。
 - 工事中は生徒等施設利用者の安全に努め、仮囲い等の適切な措置を図る。
 - 建物出入口には、落下防止対策及び安全対策を講ずること。
 - ※ 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2.(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
 - ⑦ 足場その他 [2.2.1]

工法	種別	施工箇所	仕上塗量 種類 使用量	高日射反射率 防水の適用	備考
・ P・OX	※ X-1	小庇 バルコニー 屋上	※製造所の指定による	※製造所の指定による	・ 設ける
	・ X-2		・ 設けない		
○ L・4 X	・ X-1	小庇 バルコニー 屋上	※製造所の指定による	※製造所の指定による	・ 設ける
	◎ X-2		・ 設けない		
- ⑱ 防水改修工事
 - ① 透膜防水 [3.1.4] [3.2.6] [3.6.2~3]

工法	種別	施工箇所	仕上塗量 種類 使用量	高日射反射率 防水の適用	備考
・ P・OX	※ X-1	小庇 バルコニー 屋上	※製造所の指定による	※製造所の指定による	・ 設ける
	・ X-2		・ 設けない		
○ L・4 X	・ X-1	小庇 バルコニー 屋上	※製造所の指定による	※製造所の指定による	・ 設ける
	◎ X-2		・ 設けない		
 - ② その他の防水

種別	施工箇所
・ S-M 2	
・ S-F 2	
 - ③ シーリング [3.1.4] [3.7.2] [3.7.4~7]
 - シーリング改修工法の種類
 - シーリング充填工法
 - シーリング再充填工法
 - ・ 拡張シーリング再充填工法
 - ・ ブリッジ工法
 - ・ ボンドブレイカー張り
 - ・ エッジング材張り
 - ・ 適用する
 - ・ 適用しない
 - ・ 適用しない

項目 特記事項

- ① シーリング材の種類、施工箇所
 - シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書 表3.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
外部建具廻り	変成シリコン系(MS-2) 10×15
外壁躯体目地	ポリウレタン系(PU-2) 10×20
- ② シーリング材の目寸法 ※改修標準仕様書3.7.3による
接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験
- ③ 保証書

工事区分	材料名	保証年数	備考
○ 防水工事	・ アスファルト防水	10年	
	・ 改質アスファルト防水	10年	
	・ 合成高分子フルーフィング防水	10年	
	○ 塗膜防水	10年	
・ その他工事		年	
- ④ ① 外壁改修材料 [4.2.4]、[4.3.5] [4.4.5]、[4.4.2]
 - ※ 4.2.2によるほか、監督員の承諾する材料
 - ※ セメント混和用軽量発泡発材を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。
- ④ ② ① ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.2.4~7]
 - ※ 樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅 (mm)		注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/㎡)
	0.2以上0.3未満	0.3以上0.5未満	200~300	※ 40
※ A ・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	0.5以上1.0未満		※ 70
・ B ・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	0.3以上0.5未満	50~100	※ 40
○ C ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	0.5以上1.0未満	100~200	※ 70
・ D ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上1.0未満	1.0~2.50		※ 130
- ④ ③ ① ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.3.5~8]
 - (下記以外は4-2コンクリート打放し仕上げ外壁による)
 - ※ モルタルを撤去して改修 (撤去後の補修は充填工法 [4.3.9]による)
 - ※ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
 - モルタルを撤去しないで改修
※ 樹脂注入工法 ○ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
- ④ ③ ② 欠損部改修工法 [4.1.4] [4.3.5、9、10]
 - ◎ 充填工法 (欠損部の面積が0.25㎡/箇所程度以下の場合)
充填工法の種類 ※ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル
 - ・ モルタル塗替え工法
既製目地材 ・ 使用する(形状) 仕上り厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示
- ④ ③ ③ 浮き部改修工法 [4.1.4] [4.3.5、11~16]
 - モルタルを撤去しないで改修
○ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (・ 注入口付 ・ アンカーピン固定用樹脂材料 (アンカーピン部共通) 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024) による硬質形で高粘度形 注入口付アンカーピン用樹脂材料 (アンカーピン部共通) 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024) による硬質形で中粘度形又は高粘度形 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (・ 注入口付 ・ 注入材料 ポリマーセメントスラリー (実測等の資料を監督員に提出する)
 - ※ モルタルを撤去して改修
・ 充填工法
・ モルタル塗替え工法
- ④ ④ 外壁複合改修工法
 - 平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする
- ④ ④ ① タイル張替え工法用材料 [4.4.5]
 - (下記以外は4-2コンクリート打放し仕上げ外壁、及び4-3モルタル塗り仕上げ外壁による)
 - タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法用接着剤の種類
・ ポリマーセメントモルタル
・ JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコン樹脂系
・ JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系
目地詰め ※ 行う ・ 行わない
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法	再生材料の適用	液比率による区分		役物	色	耐凍害性	耐汚濁性	備考
			1層	2層					
外壁	モザイク貼	-	-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	-	
外壁	モザイク貼	-	-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	-	
- ④ ④ ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

項目 特記事項

- 2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.2.5~7]
 - ※ タイルを撤去して改修 (撤去後の補修はタイル部分張替え工法による)
 - ※ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法
 - ※ タイルを撤去しないで改修
※ 樹脂注入工法
- 3 欠損部改修工法 [4.1.4] [4.3.5、7、8]
 - ・ タイル部分張替え工法 (欠損部の面積が0.25㎡/箇所以下の場合及び下地モルタルがある場合)
 - ・ タイル張替え工法 (下地モルタルを撤去する場合)
既製調査モルタル (張り付け用に使用する場合)
- 4 浮き部改修工法 [4.1.4] [4.4.4~6] [4.4.9~11、15]
 - ※ タイルを撤去しないで改修
・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (・ 注入口付 ・)
・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (・ 注入口付 ・)
・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (・ 注入口付 ・)
・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
注入口付アンカーピン数
・ タイルを撤去して改修 (撤去後の補修は欠損部改修工法による)
- 5 目地改修工法 [4.1.4] [4.1.6]
 - ・ 目地ひび割れ部改修工法
 - ・ 伸縮調整目地改修工法 位置及び寸法 ※ 図示
- 6 外壁複合改修工法
 - 平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする
- ④ ⑤ ① 仕上塗材仕上げ [4.1.5] [4.5.2、6]

種別	仕上りの形状	工法
○ 外装厚塗材 E	○ 砂壁状	○ 吹付け
○ 防水形外装厚塗材 E	・ 着色色材砂壁状	・ ローター
- ④ ⑤ ② 厚付け仕上塗材

種別	仕上りの形状	工法	仕上塗材
・ 外装厚塗材 E	・ 吹付け	吹付け	・ 行う
	・ 凸部処理		・ 行わない
- ④ ⑤ ③ 複層仕上塗材

種別	仕上りの形状	工法	仕上塗材
・ 複層塗材 C E	・ 凸部処理	吹付け	・ 耐水性 ※ 耐候形 3種
・ 複層塗材 S I	・ 凹凸模様	○ ローター	・ 耐候形 2種
○ 複層塗材 E	○ ゆず肌状		・ 耐水性 ※ 耐候形 3種
・ 複層塗材 R E			・ シリカ系
・ 可とう性複層塗材 C E			・ ポリウレタン系
・ 防水形複層塗材 C E			・ フッ素系
・ 防水形複層塗材 R E			・ アクリルシリコン系
・ 防水形複層塗材 E			・ つやなし
・ 防水形複層塗材 R S			・ メタリック
- ④ ⑤ ④ 可とう形改修仕上塗材

種別	仕上りの形状	工法	仕上塗材 (耐候性 耐候形 3種)
・ 可とう形改修塗材 E	・ 平たん状	ローラー	・ 水系
・ 可とう形改修塗材 R E	・ さざ波		・ アクリル系
・ 可とう形改修塗材 C E	・ ゆず肌状	吹付け	・ 溶剤系
			・ ポリウレタン系
			・ アクリルシリコン系
			・ フッ素系
- ④ ⑤ ⑤ 所要量の確認 [4.5.3]
 - 塗材所要量等の確認方法は、単位面積当たりの使用量によることを標準とする。
また、仕上りの程度の確認は、表4.6.1による。
- ④ ⑤ ⑥ 既存塗膜等の除去及び下地処理 [4.5.4]
 - 塗膜は層材 製造所 ()
 - 防火材料の指定箇所 ()
 - 既存塗膜の劣化部の除去及び下地の処理の工法
 - ※ サンダー工法
 - ※ 高圧水洗工法
 - ・ 30MPa以上
 - ・ 50MPa以上
 - ・ 100MPa以上
 - ・ () MPa以上
 - ・ 塗膜は層材製造所 ()
 - 水洗い工法
 - ・ 処理範囲
 - ・ 既存仕上げ面全体 ※ 図示の範囲
 - ・ 処理範囲
 - ・ 既存仕上げ面全体 ※ 図示の範囲
- ④ ⑤ ⑦ 下地面の補修
下地調整材料
 - 外壁改修フロー及び数量による
 - ※ 下地調整塗材
 - ・ ポリマーセメントモルタル
 - ・ 防水形仕上塗材主材
- ④ ⑤ ⑧ マスチック塗材塗り [4.6.2]
 - マスチック塗材塗り
種別 ・ A種 ・ B種
- ⑤ ① ① ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

名称		A 表面劣化部処理				B ひび割れ部処理				C 鋼鉄筋部処理				D 浮き部処理			
記号・仕様		A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]		A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4. 2. 5] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4. 2. 6] ひび割れ幅 1. 0mm超		B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4. 2. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		B-4 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		B-5 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm			
改修前	改修後																
工程		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (・全面 ・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (・全面 ・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①ひび割れ部モルタルカッター切り ②モルタル撤去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)			
		設計数量: m ²		校舎設計数量: 112 m ²		設計数量: ひび割れ幅 0. 2~0. 5mm () m ひび割れ幅 0. 5~1. 0mm () m () 内は単動ひび割れ数量を示す		設計数量: m		設計数量: m		設計数量: ひび割れ幅 0. 2~0. 5mm () m ひび割れ幅 0. 5~1. 0mm () m () 内は単動ひび割れ数量を示す		設計数量: m			
名称		B ひび割れ部処理				C 鋼鉄筋部処理				D 浮き部処理							
記号・仕様		B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1. 0mm超		B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		C-1 打放し面鋼鉄筋部処理		C-2 モルタル面鋼鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつき							
改修前	改修後																
工程		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①鋼鉄筋周辺のはつき ②鋼落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④防錆処理 ⑤はつき部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①カッター縁切り (C-3) ②鋼落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④防錆処理 ⑤はつき部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①カッター縁切り (C-3) ②浮き部はつき ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④はつき部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)							
		※A-2工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-2工法に含む。		※A-2工法を行う場合は、②、④の工程はA-2工法に含む。		※A-2工法を行う場合は、③、⑥の工程はA-2工法に含む。		※A-2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA-2工法に含む。		※A-2工法を行う場合は、③、⑤の工程はA-2工法に含む。							
		校舎設計数量: 128 m		設計数量: m		校舎設計数量: 163 m		設計数量: m		校舎設計数量: 5. 8 m ²							
名称		D 浮き部処理				D 浮き部処理				D 浮き部処理							
記号・仕様		D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 11] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 9]		D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 12] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 10]		D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 13] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 11]		D-5 モルタル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14] D-5' タイル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]		D-6 モルタル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14] D-6' タイル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]							
改修前	改修後																
工程		①穿孔 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ③エポキシ樹脂注入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所		⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑥サンダーケレン 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-2' 工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。		①一般部標準グリッド (250×250) (指定部以外の部分) ②指定部標準グリッド (200×200) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③嵌幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ④アンカーピン固定部 ⑤注入部		①ピン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③球状樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④スチレンスピン挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所		⑥注入部穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧球状樹脂注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑩サンダーケレン 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。		①一般部標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分) ②指定部標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③嵌幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ④注入部					
		校舎設計数量: ①一般部: [669] m ² [94] m ² ②指定部: 89. 7 m ² ③嵌幅部: 179 m		設計数量: ①一般部: m ² ②指定部: m ² ③嵌幅部: m		設計数量: ①一般部: m ² ②指定部: m ² ③嵌幅部: m		設計数量: ①一般部: m ² ②指定部: m ² ③嵌幅部: m		設計数量: ①一般部: m ² ②指定部: m ² ③嵌幅部: m							
名称		D 浮き部処理				D 浮き部処理				D 浮き部処理							
記号・仕様		D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 13] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 11]		D-5 モルタル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14] D-5' タイル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]		D-6 モルタル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14] D-6' タイル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]		D-7 モルタル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14] D-7' タイル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]		D-8 モルタル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14] D-8' タイル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]							
改修前	改修後																
工程		①ピン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③球状樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④スチレンスピン挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所		⑥注入部穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧球状樹脂注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑩サンダーケレン 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。		①一般部標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分) ②指定部標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③嵌幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ④アンカーピン固定部 ⑤注入部		①穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン (注入付) 挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所		⑥注入部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑦サンダーケレン 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑧高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑨セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-5' 工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。		①一般部標準グリッド (330×330) (指定部以外の部分) ②指定部標準グリッド (250×250) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③嵌幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ④注入付アンカーピン固定部					
		校舎設計数量: ①一般部: m ² ②指定部: m ² ③嵌幅部: m		設計数量: ①一般部: m ² ②指定部: m ² ③嵌幅部: m		設計数量: ①一般部: m ² ②指定部: m ² ③嵌幅部: m		設計数量: ①一般部: m ² ②指定部: m ² ③嵌幅部: m		設計数量: ①一般部: m ² ②指定部: m ² ③嵌幅部: m							



福山市建設局建築部営繕課
設計 2024年4月

工事名称 福山市立至誠中学校校舎外壁塗装改修工事
図面名称 外壁改修工事特記仕様書 No.2

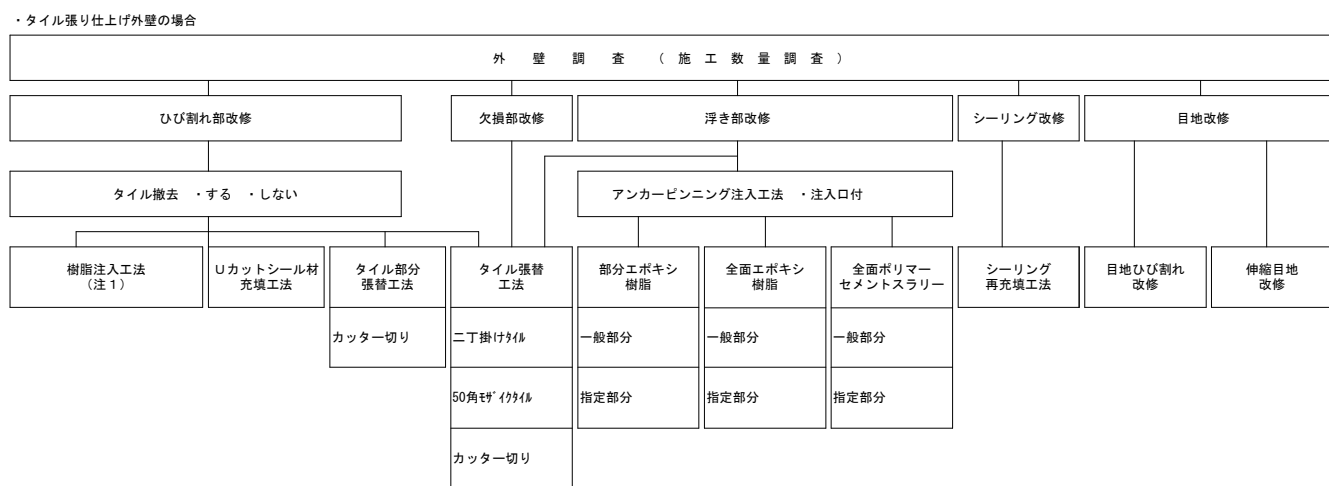
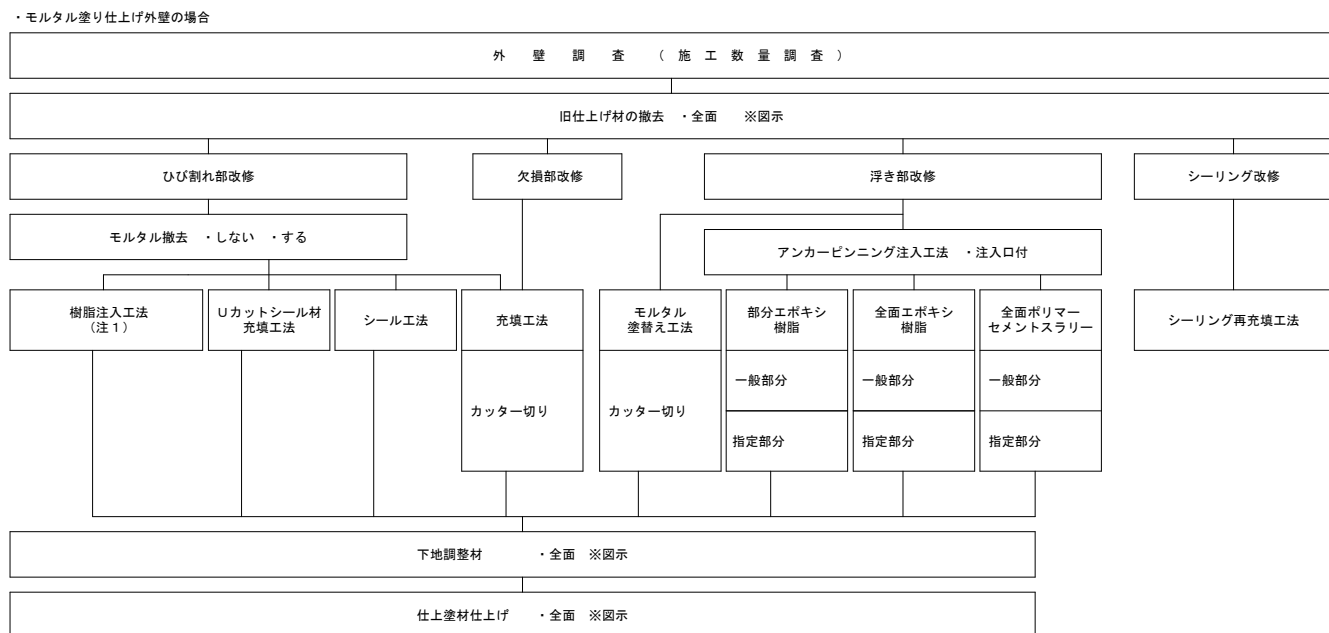
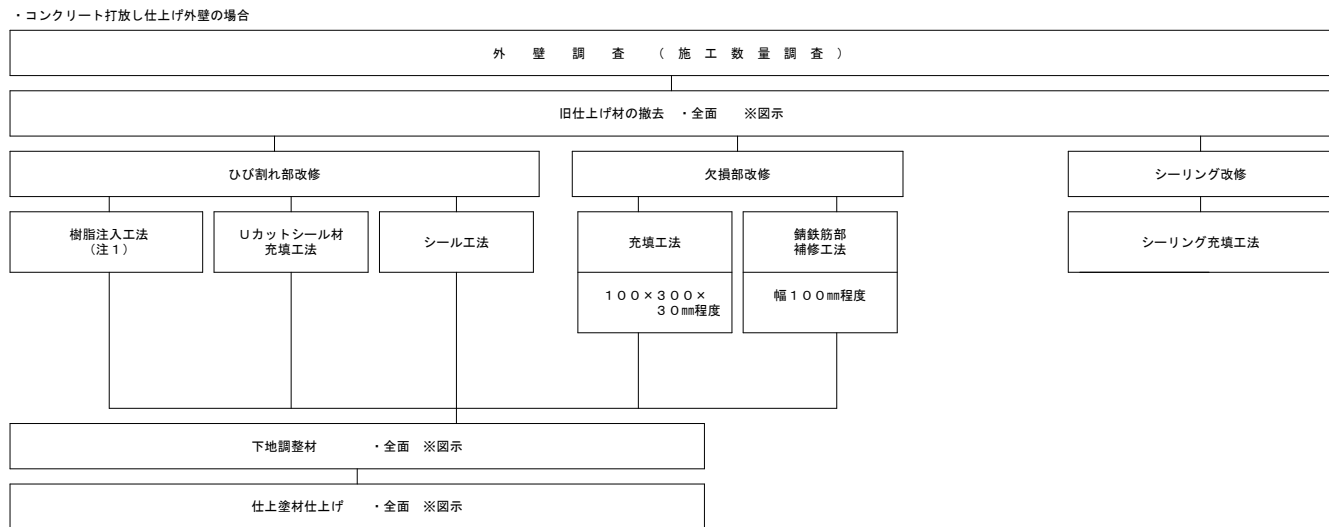
名称	D 浮き部処理	
記号・仕様	D-6 モルタル面注入付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 15] D-6' タイル面注入付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 13]	
改修前		
改修後		
工程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>③ステンレスピン（注入付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥注入部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※D-6' 工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>設計数量：①一般部分：㎡ ②指定部分：㎡ ③破損部：m</p>	<p>①一般部分標準グリッド (165×165) (指定部以外の部分)</p> <p>②指定部分標準グリッド (125×125) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>③破損部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅狭い箇所)</p> <p>※注入付アンカーピン固定部 ○注入部</p>

名称	D 浮き部処理	
記号・仕様	D-7 モルタル面注入付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 16] D-7' タイル面注入付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6' と同じ	D-8 タイル面注入付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小口タイル以上) [標仕4. 4. 15]
改修前		
改修後		
工程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>③ステンレスピン（注入付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [※'97-セメントパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥注入部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑨穿孔跡埋戻し [※'97-セメントパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※D-7' 工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>設計数量：①一般部分：㎡ ②指定部分：㎡ ③破損部：m</p>	<p>①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン（注入付）挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ]</p> <p>設計数量：㎡</p>

名称	E 欠損部処理		
記号・仕様	E-1 打放し面充填工法 [標仕4. 2. 8]	E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4. 2. 3]	E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4. 3. 3]
改修前			
改修後			
工程	<p>①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③欠損部はつり部埋戻し [※'97-セメントパテ又は※'97-セメントパテ] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む</p> <p>状態設計数量：㎡</p>	<p>①欠損部、錆跡周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④防錆処理 ⑤欠損部はつり部埋戻し [※'97-セメントパテ又は※'97-セメントパテ] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む</p> <p>設計数量：㎡</p>	<p>①カッター縦切り (C-3) ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④欠損部はつり部埋戻し [※'97-セメントパテ又は※'97-セメントパテ] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による)</p> <p>※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む</p> <p>設計数量：8㎡</p>

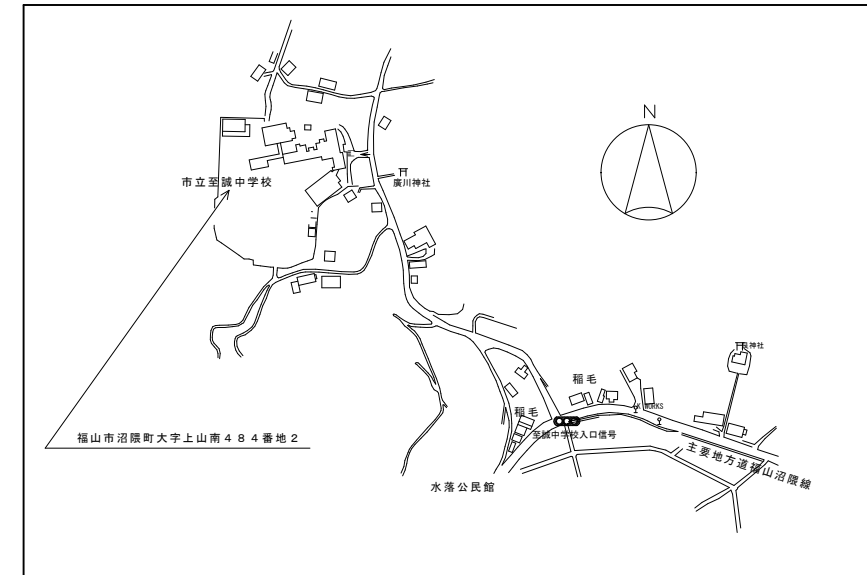
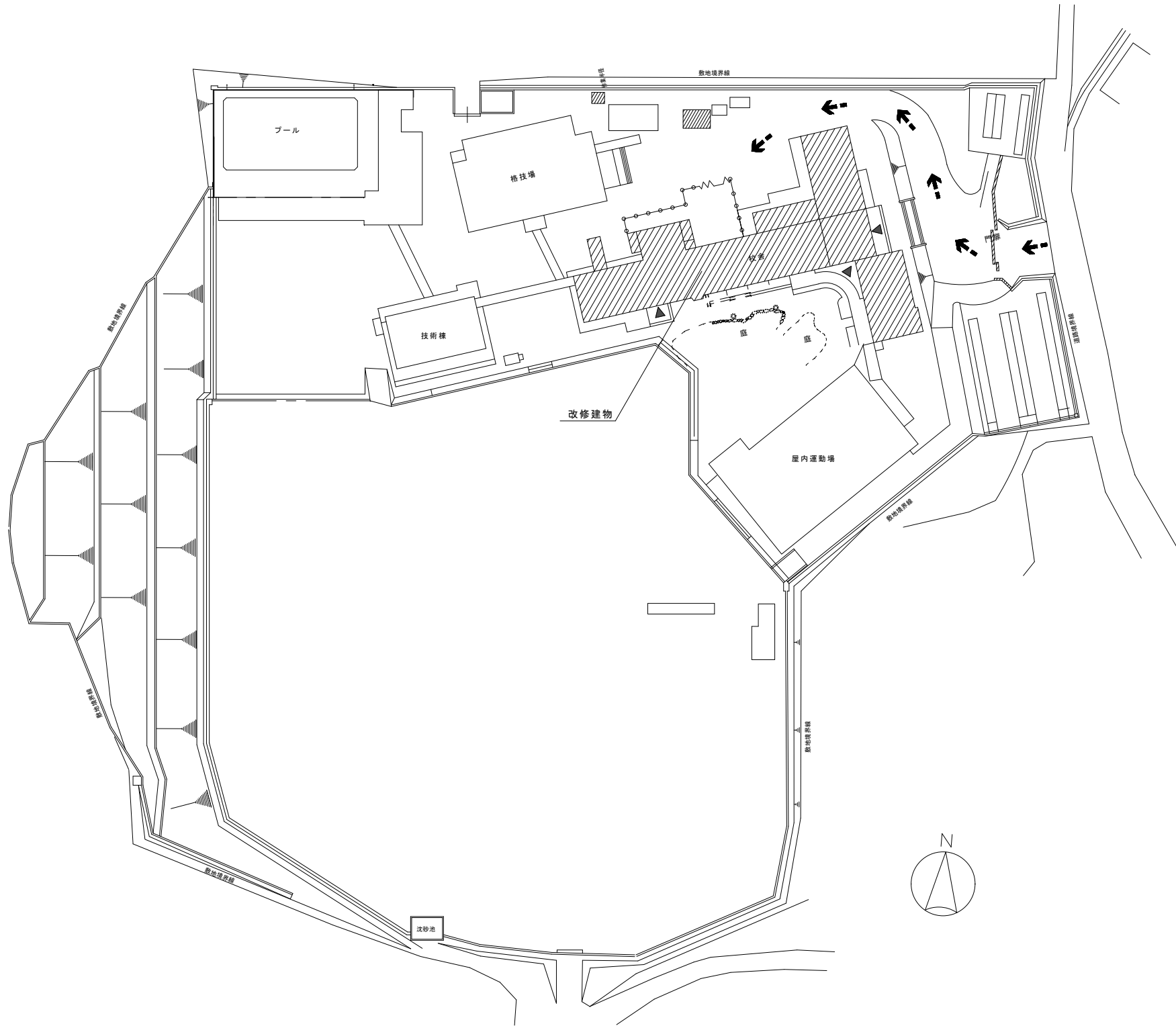
名称	F 外壁複合改修工法	
記号・仕様	F 外壁複合改修工法	
改修前		
改修後		
工程	<p>下地補修後</p> <p>①プライマー下塗り ②ポリマーベスト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーベスト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L30×15×2.0 ステンレスビス止φ450) ⑦シーリング打設 (MS-2)</p> <p>モルタル下地突出部がある場合は撤去し、水切り目地がある場合は穴埋めをすること。</p>	
設計数量	南棟校舎設計数量	ネット張り 378㎡ 水切 132㎡

外壁改修フロー図



(注1) 樹脂注入工法の種類を示す

南棟校舎設計数量	ネット張り	378㎡
	水切	132㎡



附近見取図

仮設工事特記仕様書

- ① 工事車両出入口・機器・資材搬入口は東出入口とする。
- ② 工事車両出入口：キャスターゲート程度とし、通行時のみ開放する。
- ③ 施工者が必要と判断した場合には出入口前に鉄板・合板パネル等を敷いて養生する。
- ④ 改修建物の周囲にある雨水排水施設を壊さないように注意する。
(既設建物を傷めた場合には復旧する。)
- ⑤ 生徒の移動が集中する時間帯(登下校時等)は重機、資材の搬入を避ける。
- ⑥ 車両通行部は地均し復旧を行う。
- ⑦ 配置図に記載された仮設等については、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工に於いては事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める。
- ⑧ 仮設計画をたてる前に、学校関係者及び監督員と十分協議する。
- ⑨ 仮設計画は監督員の承諾を得る。
- ⑩ 仮設足場(先行足場、階段共)には、養生シートを張り埃等の飛散を防ぐこと。
- ⑪ 生徒及び第三者が、工事エリアに入れないように、1段目には金網を設置し、施錠付きの出入口を設けること。
- ⑫ 昇降所等の建物出入口には、落下防止対策を講ずること。
- ⑬ 足場解体後は、現状復旧すること。
- ⑭ エアコンは、使用できるように室外機を養生すること。

仮設工事凡例

記号	内容
○—○	仮囲い：成形鋼板 H=2,000
∩—∩	キャスターゲート W=6,000,H=4,500
←	工事車両進入口
▲	出入口養生箇所(ベニヤ合板養生)

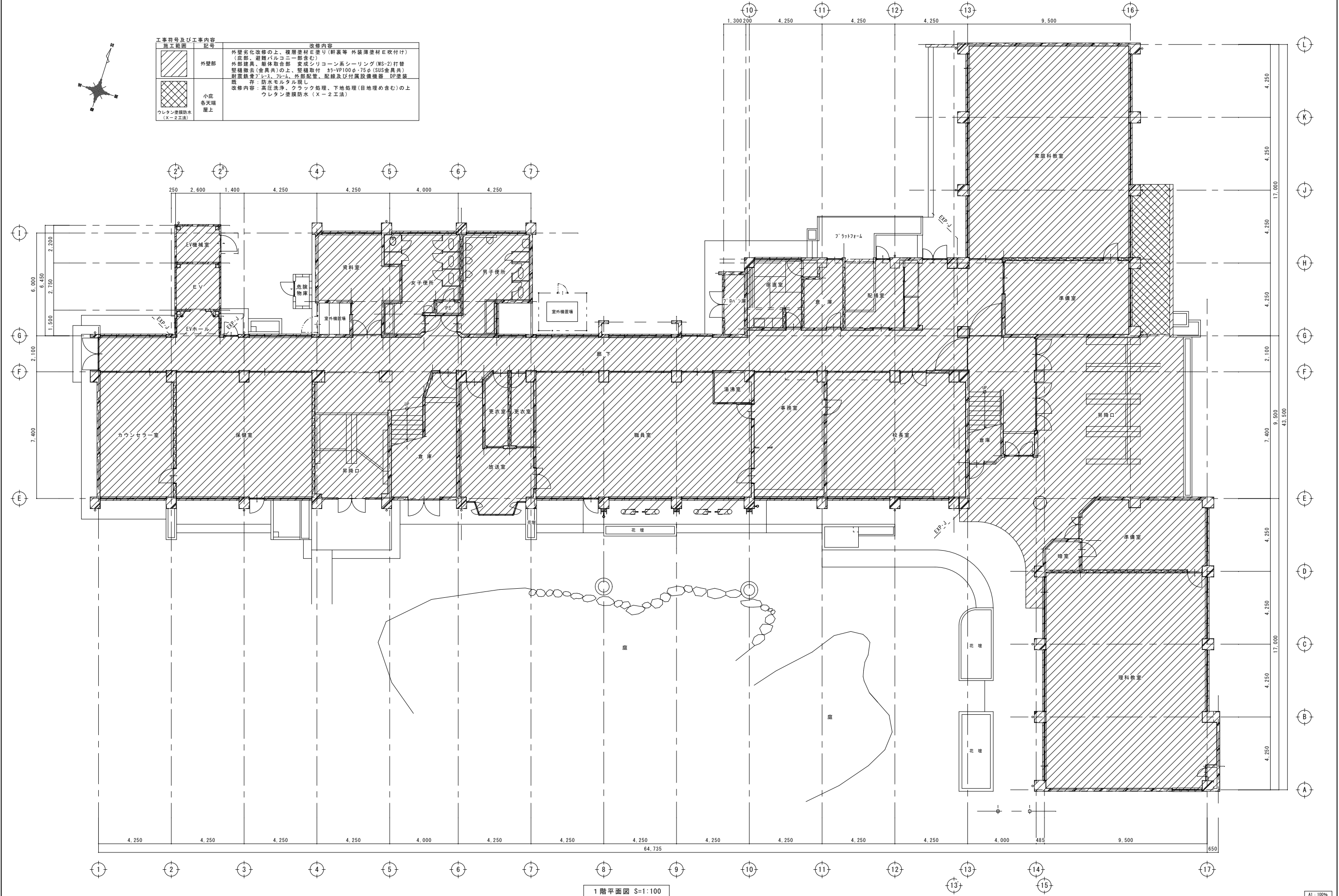
※校舎の敷地内に現場事務所の設置を予定していますが、場所・スペース等は受注者の決定後、学校と相談のうえで決定します。

配置図 S=1:500

A1: 100%
A2: 50%



工事符号及び工事内容		改修内容
	外壁部	外壁劣化改修の上、複層塗材E塗り(軒裏等 外装薄塗材E吹付け) (庇部、避難バルコニー部含む) 外部建具、躯体取合部 窓用シリコン系シーリング(MS-2)打替 窓枠撤去(金具共)の上、窓枠取付 39-VP100φ・75φ(SUS金具共) 耐震鉄骨アレス、フレーム、外部配管、配線及び付属設備機器 DP塗装 既存: 防水モルタル親し 改修内容: 高圧洗浄、クラック処理、下地処理(目地埋め含む)の上 ウレタン塗膜防水(X-2工法)
	小窓 各天端 屋上	
	ウレタン塗膜防水 (X-2工法)	

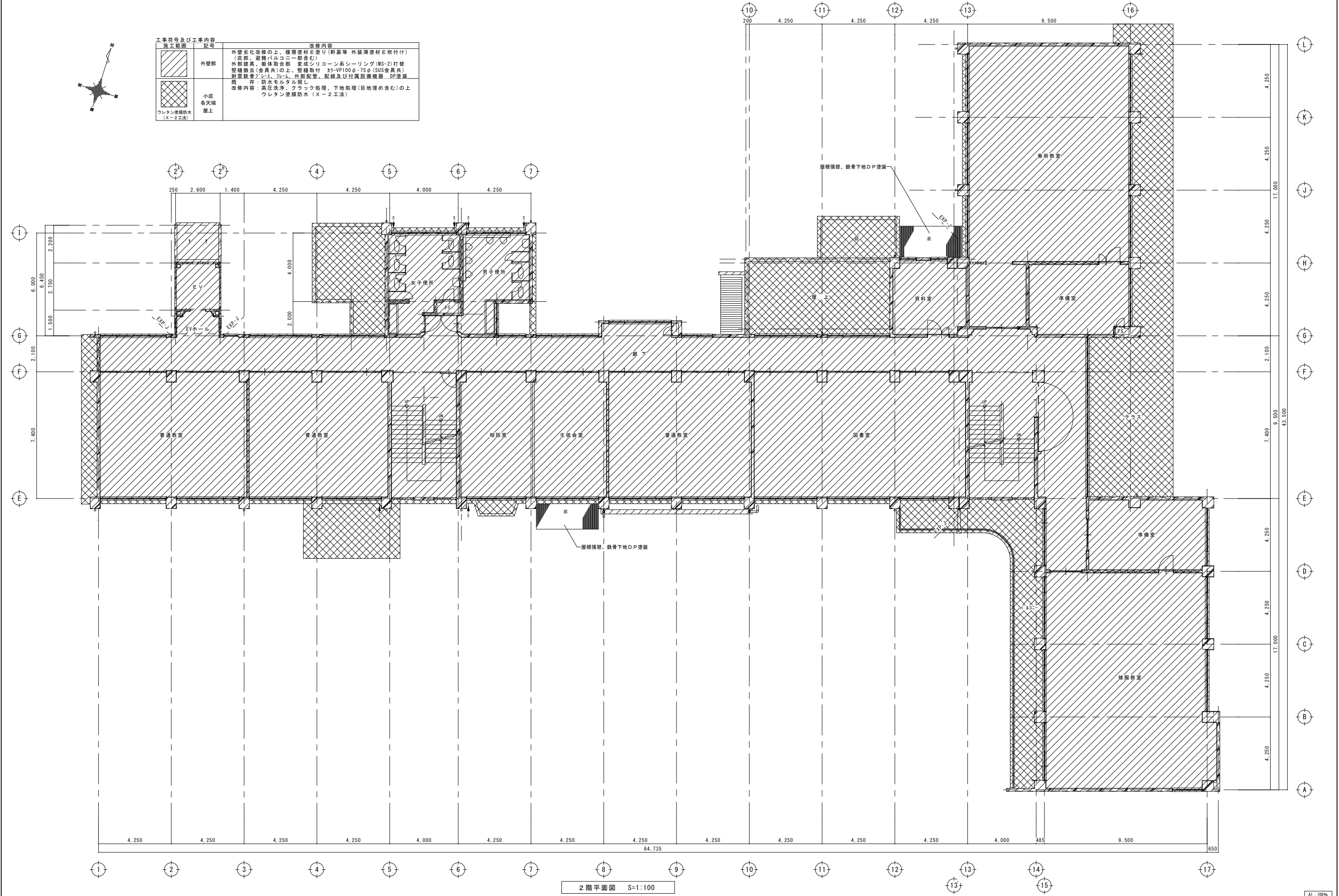


1階平面図 S=1:100

A1: 100%
A2: 50%



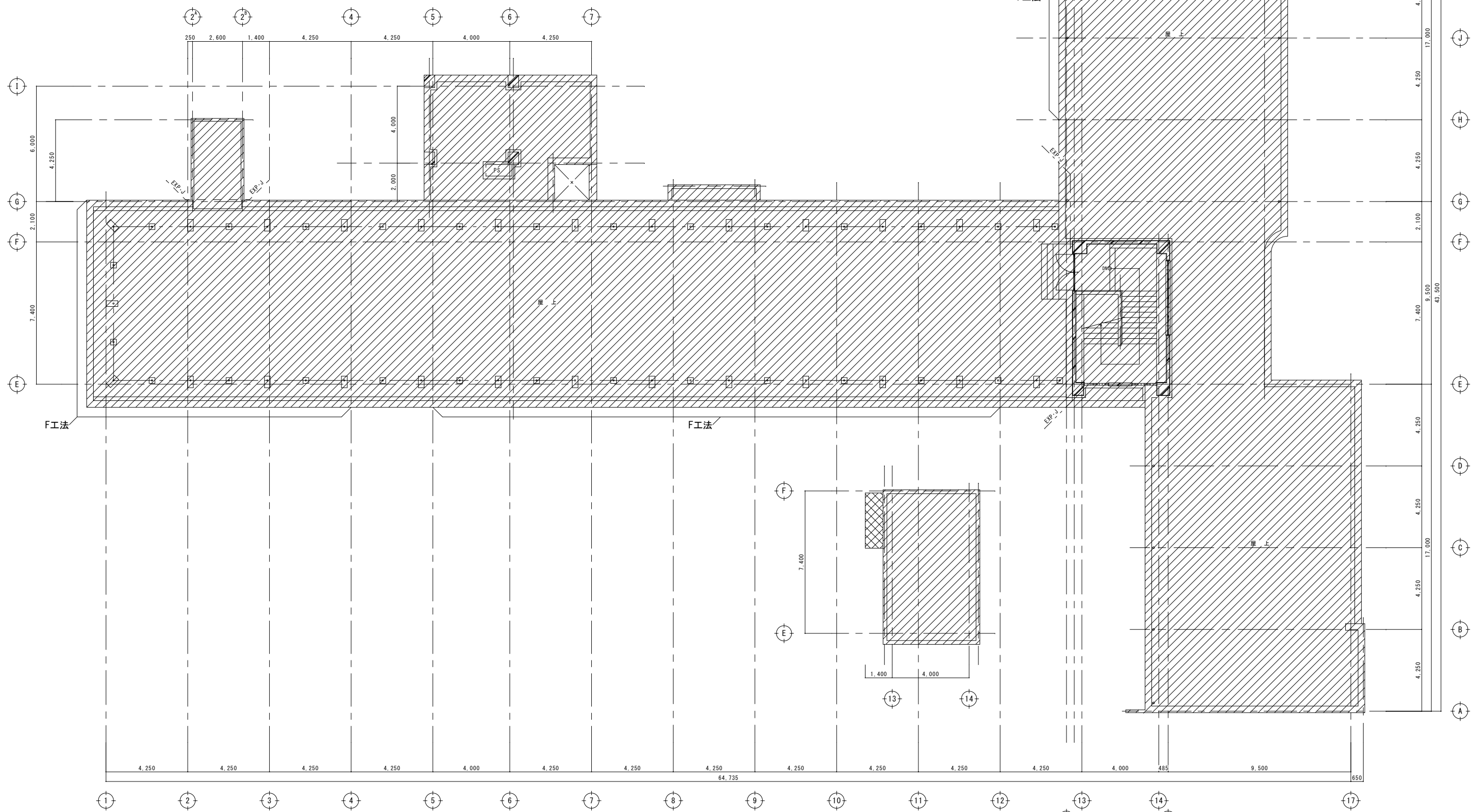
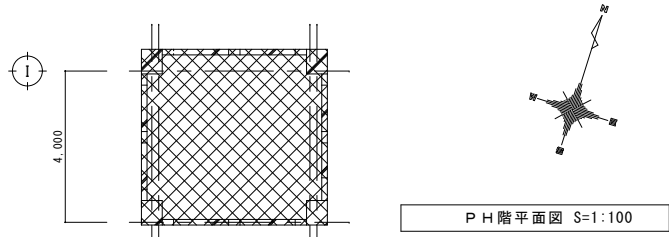
工事符号及び工事内容		改修内容
	外壁部	外壁劣化改修の上、複層塗材E塗り(軒裏等 外装薄塗材E吹付け) (庇部、避難バルコニー部含む) 外部建具、躯体取合部 窓枠シリコン系シーリング(MS-2)打替 壁種撤去(金具共)の上、窓種取付 39-VP100φ・75φ(SUS金具共) 耐震鉄骨アレス、フレーム、外部配管、配線及び付属設備機器 DP塗装
	小座 各天端 屋上	既存: 防水モルタル親し 改修内容: 高圧洗浄、クラック処理、下地処理(目地埋め含む)の上 ウレタン塗膜防水(X-2工法)





2階平面図 S=1:100

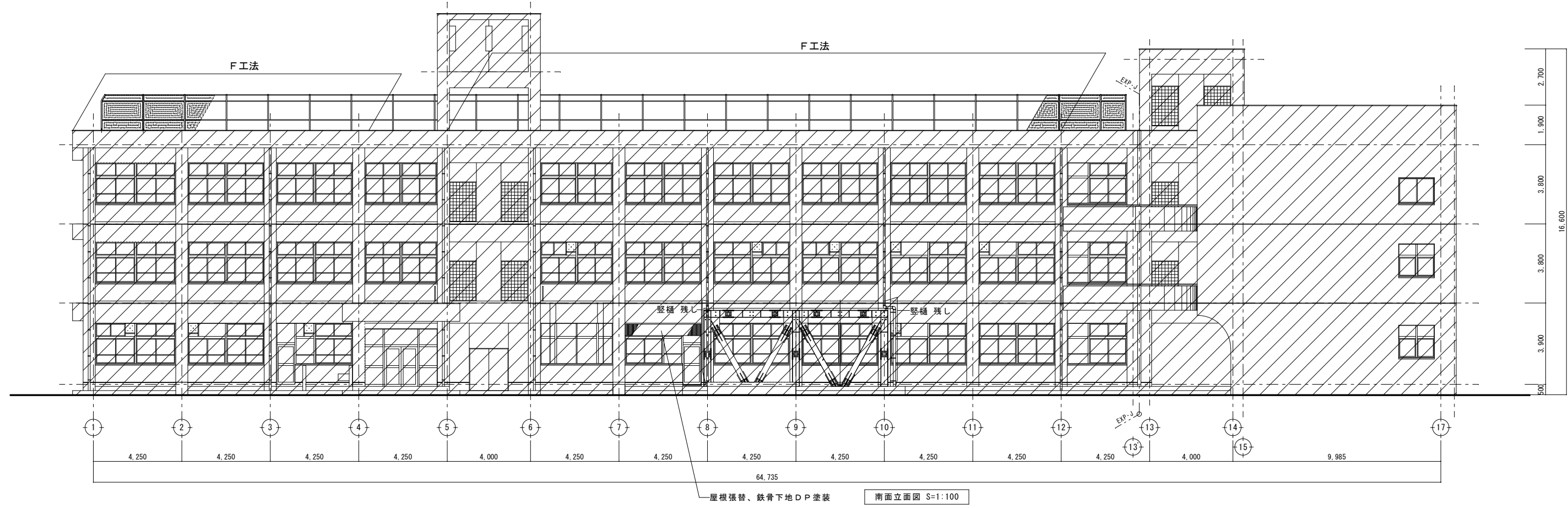
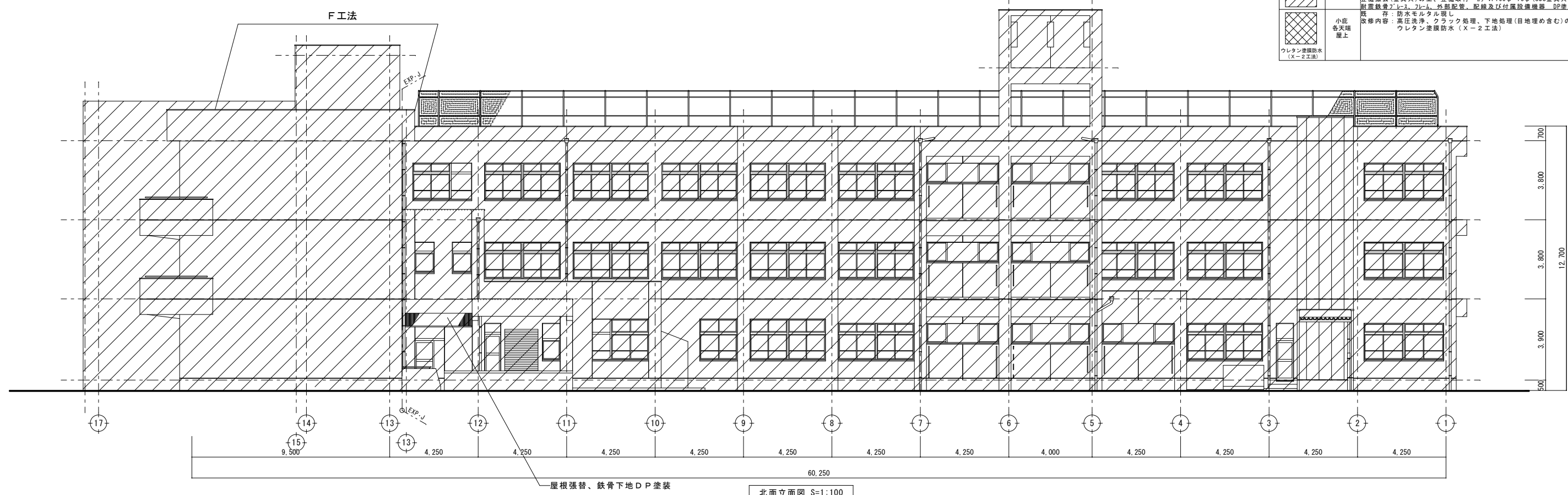
A1: 100%
A2: 50%

工事符号及び工事内容	記号	改修内容
外壁部	(斜線)	外壁劣化改修の上、複層塗材(珪藻土系珪酸系)外装薄塗材E吹付け(庇部、避難バルコニー部含む) 外部建具、躯体取合部 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替 壁面剥離(金具共)の上、壁種取付 85-VPI00φ・75φ(SUS金具共) 耐震鉄骨(1-1、1-2、1-3、外部配管、配線及び付属設備機器)DP塗装 貯 存: 防水モルタル塗り 改修内容: 高圧洗浄、クラック処理、下地処理(目地埋め含む)の上 ウレタン塗膜防水(X-2工法)
小庇 各天端 屋上	(格子)	



A1: 100%
A3: 50%

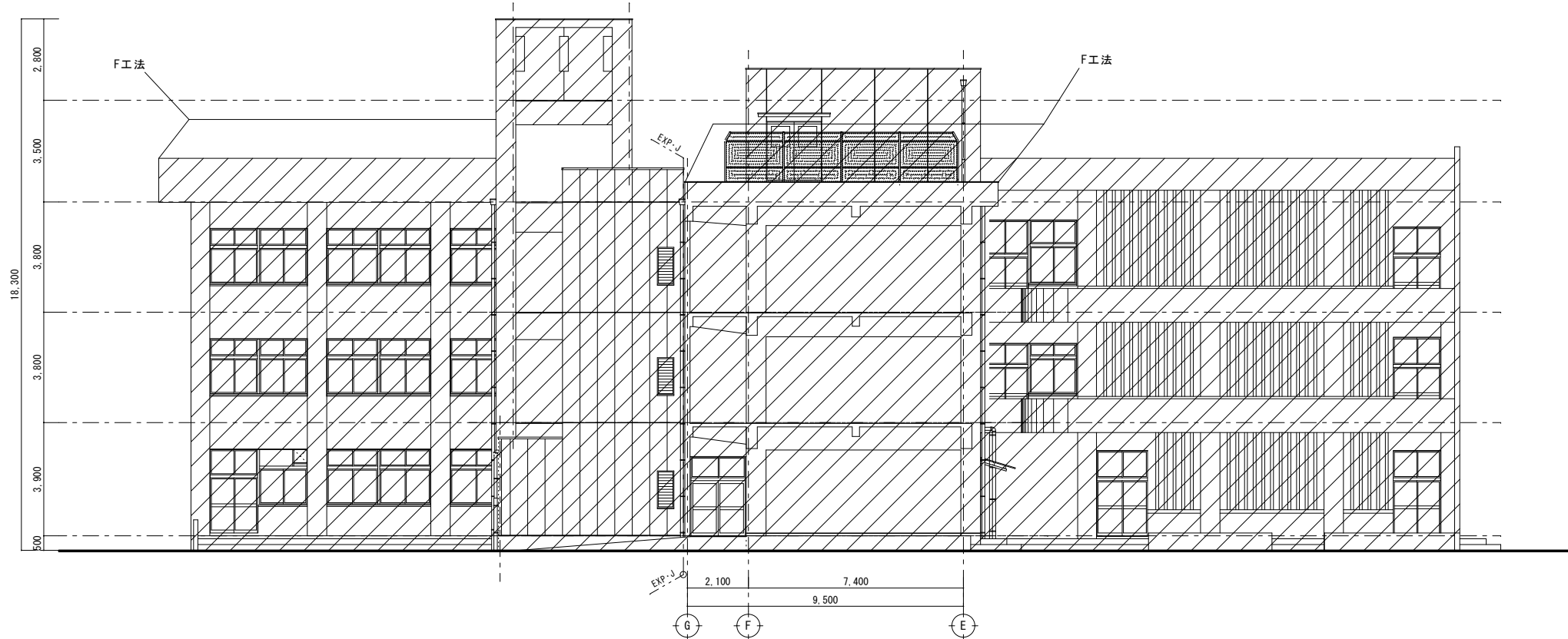
工事符号及び工事内容	改修内容
 外壁部  小庇 軒天 屋上 ウレタン塗膜防水 (X-2工法)	外壁改修の上、複層塗材E塗り(軒裏等 外装薄塗材E吹付け) (庇部、避難バルコニー部含む) 外部建具、躯体取合部 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替 陸橋脚金(金具共)の上、壁補修付 37-VP100φ-75φ(SUS金具共) 新置鉄骨21mm、21mm 外部取付、配線及び付属設備機器 DP塗装 存: 防水モルタル現し 改修内容: 高圧洗浄、クラック処理、下地処理(目地埋め含む)の上 ウレタン塗膜防水(X-2工法)



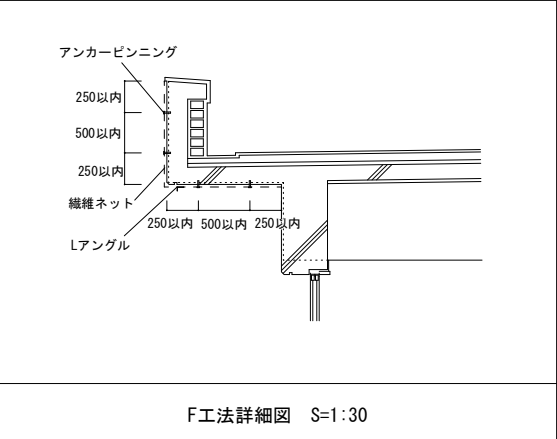
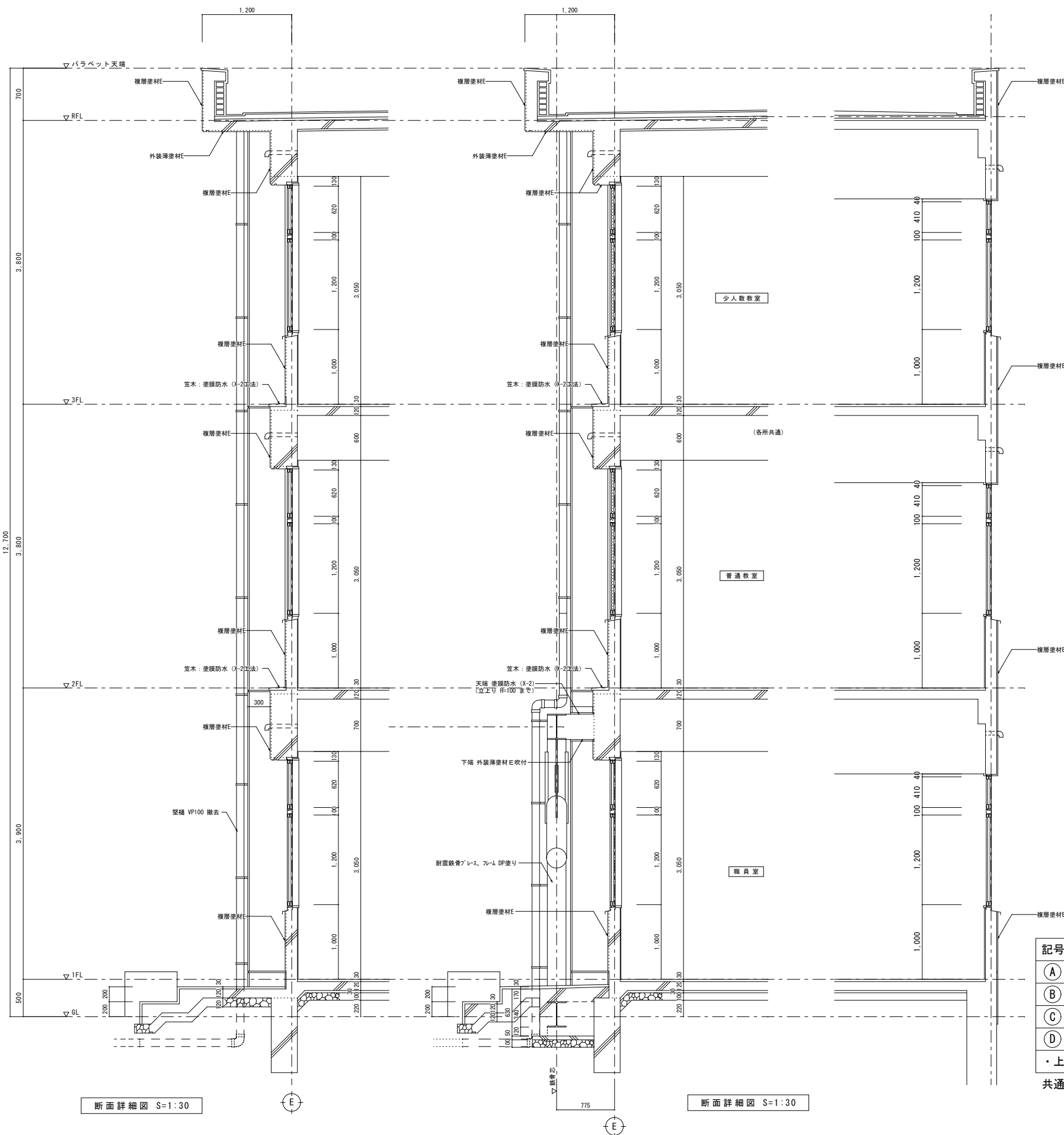


東面立面図 S=1:100

工事番号及び工事内容	記号	改修内容
外壁部	斜線	外壁劣化改修の上、複層塗材E塗(軒裏等 外装薄塗材E吹付け) (庇部、避難バルコニー部含む) 外部鍵具、躯体取合部 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替 腐蝕除去(金具共)の上、窓枠取付 耐-VF100φ・75φ(SUS金具共) 耐震設置2レース、フレム、外部配管、配線及び付属設備機器、DP塗装
小窓 各天端 屋上	格子	既存: 防水モルタル現し 改修内容: 高圧洗浄、クラック処理、下地処理(目地埋め含む)の上 ウレタン塗膜防水(X-2工法)
ウレタン塗膜防水 (X-2工法)	斜線	



西面立面図 S=1:100



記号	仕上げ	適用か所	改修内容	備考
Ⓐ	複層塗材E	一般部	高圧洗浄(15MPa程度), 劣化部改修・下地調整(C-1), 外壁塗装改修	—
Ⓑ	外装薄塗材E	見上げ部	高圧洗浄(15MPa程度), 劣化部改修・下地調整(C-1), 外壁塗装改修	—
Ⓒ	塗膜防水(X-2工法)	庇部	水洗い・下地処理, 塗膜防水	—
Ⓓ	DP塗装	鉄部	下地調整(RB種), 錆止め塗装, DP塗装	—

・上記以外に関しては監督員との協議による

共通事項 外部配管、配線及び付属設備機器：DP塗装

断面詳細図 S=1:30

断面詳細図 S=1:30

A1: 100%
A2: 50%

参考数量書

§ 工事名称 福山市立至誠中学校校舎棟外壁塗装改修工事

§ 工事場所 福山市沼隈町大字上山南 4 8 4 番地 2

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立至誠中学校校舎棟外壁塗装改修工事

工事場所 福山市沼隈町大字上山南484番地2

【工事概要】
外壁塗装改修工事 一式
対象建物 校舎
鉄筋コンクリート造 3階建
延べ面積 3,747㎡

校舎		外壁改修工事			外壁劣化改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	3,859	㎡				
A-2 モルタル面表面劣化処理		112	㎡				
B-6 モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	128	m				
C-1 クラック部打放し面 サビ鉄筋処理		163	m				
D-1 モルタル面はつり	0.25㎡以上	5.8	㎡				
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 一般部(16カ所/㎡)	116	㎡				
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 指定部(25カ所/㎡)	89.7	㎡				
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 狭幅部(5カ所/m)	179	m				
E-3 モルタル面欠損部処理	樹脂モルタル	8	㎡				
F 外壁複合改修	ビニネット工法	378	㎡				
アルミ水切り取付 (材工共)	アルミ製 L-30×15×2.0 ステンレスビース@450含む	132	m				
計							

